





★大川政紀さん（昭34年66回卒）  
卒業後60年余、後半は30年以上にわたり11月に東京3組クラス会を毎回15～16名の参加で開催して来ましたが、コロナの影響でこの2年は中止の憂き目にあっています。コロナ前は仲間との飲み会やゴルフ等で手帳の予定も埋まっていましたが、この1年以上は『Stay home』を余儀なくされ、まさに「ボーッと生きている」のが日常になってしまっているのは残念なことです。今年の11月には3年ぶりに東京3組クラス会が無事開催され、三年分の旧交を温められることを願っている今です。

★神林 茂さん（昭48年80回卒）  
新型コロナウイルスが蔓延し、帰省もできず毎日平塚の海を眺めながらステイホームすることが多くなった。実家が羽黒山入口にあったので、T.V.等で羽黒山・月山等の勇姿を観るたびに涙を流す今日この頃である。



★齋藤 嶩さん（昭34年66回卒）  
岩の表現難しいです。『Stay home』から田舎の海に出かけた雰囲気で描いてみました。南高時代にダチヤ（親父）と弟とザッコ釣りに加茂海岸に出かけ、岩で餌は針に小エビを刺して釣り糸の長さを調整します。夕方にかけて黒鯛が釣れるんです。手に釣り竿の糸の針の餌に魚がチヨンチヨンと当たりがありガブット食いついた瞬間で釣り竿を上げるんです。鯛は結構引きが強く釣り竿がしなります。

★庄司 誠さん（昭38年70回卒）  
コロナ禍、忍び忍び帰郷の親孝行。車で帰郷辞めて早三年、朝、大宮駅8：34分T.V.等で羽黒山

・月山等の勇姿を観るたびに涙を観るたびに涙で鶴岡駅12：44着、3時間40分の小旅行。

鶴岡が近くなつたもんだ。定席は進行方

向左側、海を目にしたいからである。庄

木活説明会で、丁先輩の口上に心動かさ

# みんな どげしつたや~?

第51回 東京鶴翔同窓会・会報作成チームが100人の皆様に投稿をお願いしました。  
コロナ禍の近況を100字のコメントと写真で紹介します。★苗字の下の(○○)は旧姓です。

★大川政紀さん（昭34年66回卒）

卒業後60年余、後半は30年以上にわたり11月に東京3組クラス会を毎回15～16名

の参加で開催して来ましたが、コロナの影響でこの2年は中止の憂き目にあって

います。コロナ前は仲間との飲み会やゴ

ルフ等で手帳の予定も埋まっていました

が、この1年以上は『Stay home』を余

儀なくされ、まさに「ボーッと生きてい

る」のが日常になってしまっているのは残念な

ことです。今年の11月には3年ぶりに東

京3組クラス会が無事開催され、三年分

の旧交を温められることを願っている今

です。

★齋藤 嶩さん（昭34年66回卒）  
岩の表現難しいです。『Stay home』から田舎の海に出かけた雰囲気で描いてみました。南高時代にダチヤ（親父）と弟とザッコ釣りに加茂海岸に出かけ、岩で餌は針に小エビを刺して釣り糸の長さを調整します。夕方にかけて黒鯛が釣れるんです。手に釣り竿の糸の針の餌に魚がチヨンチヨンと当たりがありガブット食いついた瞬間で釣り竿を上げるんです。鯛は結構引きが強く釣り竿がしなります。

★庄司 誠さん（昭38年70回卒）  
毎日、家でライター仕事です。P.C.があ

ればできるので、東京の自宅と鶴岡の実家を往復して執筆しています。現在は経済学本。学研社員時代は辞書がメインで

したが、今は独学で得た知識で楽しく書

いています。

★菅原誠一さん（昭45年77回卒）  
ここ数年は読走飲の日々。8月10日時点

は140冊。走は10キロジヨグが27

0回。飲は飲酒機会が200日。回数も

量も往時の半分ほど（多分）。古希にして

己の体調を識る。まだ飲める。

★津釜（小林）美和さん（昭47年79回卒）  
部活説明会で、丁先輩の口上に心動かさ

ます。

★阿部 正さん（昭43年75回卒）  
今年は鶴岡での両親の法事を予定してお

りましたが、コロナ禍ということもあり

4人兄弟姉妹のワクチン接種が完了して

から日程を決めようということになりました。鶴岡在住の弟が4人の接種管理表

を作成し副反応を含めた各自の状況を情

報交換していますが、東京、大阪、山形、

埼玉と各地の自治体対応の差に驚いてい

ます。

庄内 んめ もの ある ある 《正月》「クロマメ」カチカチと固く煮て、歯固めだ。「ヒタシマメ」青豆は硬めに茹でて数の子はちぎって、割り干し大根入れて。「コブマキ」の中は身欠き鯉だけだ。

庄内 んめ もの ある ある 《正月》丸餅ごぼ焼いでの「つゆもち」と「あんこもち」だ。岩海苔入れで。焼ぐなは男しょだもの。「鰯」ドンガラ汁のダミは、んめの。「こづけ」はシラタキかデエゴンの細切りど炒めでの。

ごあいさつ

新型コロナの影響は多大です。これまでの生活が大きく変わってしまいました。風邪でもないのにマスクは必需品になりました。常につけていない外を歩けない。忘れて外出すると、何か他人の視線が気になります。慌てて家へマスクを取りに戻ったことも何度あったことか。皆さんも同様の経験があるのではないかでしようか。

鶴岡へ帰ることもここ2年ままならなかつたのではありませんか。そこで今回の「みんな どげしつたや~?」特集は多くの同窓生がどのような思いで生活しているのか、コロナ禍における声を集めてみました。

皆さんの思いをお読みください。

坂田 敬一  
(昭和42年74回卒)

## 会報「鶴翔」(51号)に向けて

## コロナ禍での挑戦

鶴翔同窓会 会長  
齋藤 正志  
(昭和44年76回卒)

昨年4月からお世話をなつております坂尾聰と申します。教員として鶴岡南高校勤務は3回目となります。ご協力に感謝申し上げます。

東京圏に比べれば軽微とは言え、コロナ、コロナで身動きが取れません。11月発行の同窓会だよりも報告致しますが、鶴翔同窓会の理事会は書面会議にしましたし、総会はホームページ上で承認をいたく形にさせました。寂しい限りです。

母校は今、コロナ禍とは別の時代の大波（少子化に伴う田川地区の統廃合）に翻弄されますが、通事については、記念式典と記念講演のみ実施し、祝賀会は中止致しました。寂しい限りです。

東京鶴翔会の会員の皆様ご無沙汰しております。

日頃より、鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校へのご支援

がであります。会議も同様です。しかし、直に表情を見ながらの会話には弾みがつき、何か目に見えないパワーが影響していると感じざるを得ません。庄内の美味い食べ物とお酒で会話が弾んだ同窓会は仲間づくりの一助になつきました。これからは単なる懐かしい思い出だけになつてしまふのだろうか。さらに、ウイズコロナの同窓会はどうなるのか考えてしまいます。これまで、幾多の困難を乗り越え300人という同窓生を集め、毎年工夫し、充実した総会を東京鶴翔同窓会は展開してきました。その原動力は担当卒業年度の皆さんが素晴らしい力を發揮し、結集し実現したものでした。「やっぱり南高だの」という声を数多く聞くことが出来ました。今年は会報だけになりましたが、来年はウイズコロナの中、これまでとは違った同窓会を計画しています。ご期待ください。

母校は今、コロナ禍とは別の時代の大波（少子化に伴う田川地区の統廃合）に翻弄されますが、通事については、記念式典と記念講演のみ実施し、祝賀会は中止致しました。寂しい限りです。

母校は今、コロナ禍とは別の時代の大波（少子化に伴う田川地区の統廃合）に翻弄されますが、通事については、記念式典と記念講演のみ実施し、祝賀会は中止致しました。寂しい限りです。

東京鶴翔会の会員の皆様ご無沙汰しております。

日頃より、鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校へのご支援

がであります。会議も同様です。しかし、直に表情を見ながらの会話には弾みがつき、何か目に見えないパワーが影響していると感じざるを得ません。庄内の美味い食べ物とお酒で会話が弾んだ同窓会は仲間づくりの一助になつきました。これからは単なる懐かしい思い出だけになつてしまふのだろうか。さらに、ウイズコロナの同窓会はどうなるのか考えてしまいます。これまで、幾多の困難を乗り越え300人という同窓生を集め、毎年工夫し、充実した総会を東京鶴翔同窓会は展開してきました。その原動力は担当卒業年度の皆さんが素晴らしい力を發揮し、結集し実現したものでした。「やっぱり南高だの」という声を数多く聞くことが出来ました。今年は会報だけになりましたが、来年はウイズコロナの中、これまでとは違った同窓会を計画しています。ご期待ください。

東京鶴翔会の会員の皆様ご無沙汰しております。

日頃より、鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校へのご支援

がであります。会議も同様です。しかし、直に表情を見ながらの会話には弾みがつき、何か目に見えないパワーが影響していると感じざるを得ません。庄内の美味い食べ物とお酒で会話が弾んだ同窓会は仲間づくりの一助になつきました。これからは単なる懐かしい思い出だけになつてしまふのだろうか。さらに、ウイズコロナの同窓会はどうなるのか考えてしまいます。これまで、幾多の困難を乗り越え300人という同窓生を集め、毎年工夫し、充実した総会を東京鶴翔同窓会は展開してきました。その原動力は担当卒業年度の皆さんが素晴らしい力を揮発し、結集し実現したものでした。「やっぱり南高だの」という声を数多く聞くことが出来ました。今年は会報だけになりましたが、来年はウイズコロナの中、これまでとは違った同窓会を計画しています。ご期待ください。

東京鶴翔会の会員の皆様ご無沙汰しております。

日頃より、鶴翔同窓会並びに鶴岡南高校へのご支援

がであります。会議も同様です。しかし、直に表情を見ながらの会話には弾みがつき、何か目に見えないパワーが影響していると感じざるを得ません。庄内の美味い食べ物とお酒で会話が弾んだ同窓会は仲間づくりの一助になつきました。これからは単なる懐かしい思い出だけになつてしまふのだろうか。さらに、ウイズコロナの同窓会はどうなるのか考えてしまいます。これまで、幾多の困難を乗り越え300人という同窓生を集め、毎年工夫し、充実した総会を東京鶴翔同窓会は展開



八年程前から同世代のバンド仲間と始めた高齢者施設への月1~2度の慰問演奏活動(どちらが慰められているのやら?)、コロナ禍で一年以上もストップ。再開できるその日を目指して専ら週1~2回の練習に励んでいます。



★渡部政喜さん(昭40年72回卒)  
八年前から同世代のバンド仲間と始めた高齢者施設への月1~2度の慰問演奏活動(どちらが慰められているのやら?)、コロナ禍で一年以上もストップ。再開できるその日を目指して専ら週1~2回の練習に励んでいます。

★龜井 篤さん(昭36年32回定卒)  
コロナ禍の一年余。ジムや友人との集いも避ける日々。近くの桜並木の有名な見沼用水路脇を時々歩き、気晴らし。イナガにはキヨウデエショウからクンナと言ワ

ゲ暫グは  
イゲネエ  
シ、故郷  
は遠くな  
りにけり。  
イデルサ

佐藤真二さん(昭59年91回卒)  
昨年4月から、平河町の都道府県会館13階「山形県東京事務所」おられます。県人会総会も中止となり、首都圏の皆様とお会いできずんに残念。平河町にいつでもお出でください。FM柏江ラジオ放送の「勝手に!柏江山形県人会」をよろしくお願いします!

★佐藤伸一郎さん(昭59年91回卒)

実は、今更ながら「視覚障害者柔道の研

ん。名前はレックス。玄関で吠えて迎えてくれます。帰つたらいつも傍にベッタリ、寝る時も起きる時も一緒。今彼は8歳。70歳まで仕事を続け、その後のんびりとレックスと過ごすのが今の目標です。



★高橋 進さん(昭30年62回卒)

62回生は首都圏で毎年、新年会とだだちや豆会を行っています。近年は昼食会に替え、会場も東京駅の近くに設け、地方からの参加者が日帰りできる様にしております。北海道、関西、山形、鶴岡からも来てくれ、人数は約40名ですが、去年と今年はコロナで中止となり、再会と命との競争であります。

★渡部英一さん(昭57年89回卒)

コロナ禍で行きつけのお店が次々と閉店していく中、お取り寄せの珍味に舌鼓を打ちながら家飲みに邁進する今日この頃です。お気に入りは富山の「ホタルイカの塩辛・赤作り」です。まんざらござも行がいねもの。(涙)

★阿部良一さん(昭39年71回卒)

私の職場の先輩が定年後の64歳で大連師範大学に3年間語学留学し、最近、「自分史」を上梓した。その留学生の中に85歳の日本人がおられ、その方が「青春と共に老いる」のアメリカの詩人の句を紹

る。

★齊藤弘樹さん(昭55年87回卒)

緊急事態から一年半になり、やっと二回のワクチン接種し2ヶ月になりました。鶴岡にも帰れず、1人でいる父と連絡が

が取れません。

★八幡喜代志さん(昭44年76回卒)

鶴岡の南に鎮座する金峯山。登山や幹部訓練で記憶のある方も多いと思います。元々は信仰の山、最上家や酒井家の庇護も受けながら開山千三五十年を迎えた。観光協会の副会長として冊子の発刊など事業推進しています。

★安井(井上)明美さん(昭55年87回卒)

ずっと続くと信じていた大好きな旅行業がコロナ禍でなくなり、日常のささやかな幸せ「友達との会話」もほんなくなつた中で還暦、失意の多い世の中ですが、「皆とのあつまり」再開を信じて!!

★伊田 覚さん(昭54年86回卒)

最後の帰省から2年経った。年に2回は家族に会い、歳をとつていく様子や新しい家族が増え喜びを共有してきたが、会えない状況は意識や立場を強制的に離してしまった。今は自宅裏の見沼田んぼで自然と戯れ稻の成長や木々の落葉を見ながら遠い庄内を想つてい

る。

★近藤(芳賀)景子さん(昭48年80回卒)

この夏ワクチン接種後反応は38度超の発熱。例の宣言下メタボ対策開始直後に転倒、膝頭縫合20針で骨平気。晩春メタセコイア球果に初遭遇、独り散歩の自然観察会。来年はみんなの顔見で喋りでのお!

★中田(小島)茂さん(昭50年82回卒)

未だに現役並みに働いています。仕事は現場監督。この仕事気力・体力・経験がモノを言う商売です。毎朝4時半に起き、豆、麦切り、ハタハタ、寒鰯等を、都心でない分お安く食べさせてくれます。

★大川文幸さん(昭60年92回卒)

巣ごもり家電、炭酸水製造機を入手。ペットボトルを買、運、捨が省け、おいしいハイボールが手軽に。宅飲最高!(飲過注)やつぱり、気の合う仲間とワイガヤが一番。早く、一緒に乾杯できる日々を願っています。

★井上 茂さん(昭42年74回卒)

2019年10月に札幌へ移住もうすぐ2年。楽しみにしてた各種イベントがコロナで中止ガッカリ。そんな中週一でゴルフとボーリングを楽しみ、なんとハイスクアア44点が出ました。驚きノ当地の良さはなんと言つても空と空気の綺麗さですね。

★近藤(芳賀)景子さん(昭48年80回卒)

この夏ワクチン接種後反応は38度超の発熱。例の宣言下メタボ対策開始直後に転倒、膝頭縫合20針で骨平気。晩春メタセコイア球果に初遭遇、独り散歩の自然観察会。来年はみんなの顔見で喋りでのお!

★中田(小島)茂さん(昭50年82回卒)

未だに現役並みに働いています。仕事は現場監督。この仕事気力・体力・経験がモノを言う商売です。毎朝4時半に起き、豆、麦切り、ハタハタ、寒鰯等を、都心でない分お安く食べさせてくれます。

★泉川由理さん(昭60年92回卒)

京王線東府中駅前にある居酒屋「もつけだのー」(080-4370-7755)は、店内直送の山菜、岩牡蠣、だだちゃ豆、麦切り、ハタハタ、寒鰯等を、都心でない分お安く食べさせてくれます。

★中田(小島)茂さん(昭50年82回卒)

未だに現役並みに働いています。仕事は現場監督。この仕事気力・体力・経験がモノを言う商売です。毎朝4時半に起き、豆、麦切り、ハタハタ、寒鰯等を、都心でない分お安く食べさせてくれます。

★近藤(芳賀)景子さん(昭48年80回卒)

この夏ワクチン接種後反応は38度超の発熱。例の宣言下メタボ対策開始直後に転倒、膝頭縫合20針で骨平気。晩春メタセコイア球果に初遭遇、独り散歩の自然観察会。来年はみんなの顔見で喋りでのお!

★中田(小島)茂さん(昭50年82回卒)

未だに現役並みに働いています。仕事は現場監督。この仕事気力・体力・経験がモノを言う商

★鈴木(門田)伸子さん(昭51年83回卒)  
夫は1975年卒の鈴木祐一郎です。夫は国的研究機関勤務。コロナ禍で、ほぼリモート。パソコンに向かう日々で体力はどうなる? (苦笑)

筋力、体力はアップ。今後、どうなる? (苦笑)

走り回る日々で、ジムに通わなくても、木屋。しかもまだ見習い。鑄はあげたもの何處に行こうとしてるのか? 遭難しそう!

★今野りつさん(昭50年82回卒)  
58歳までインテリア、60歳から何故か植木屋。しかもまだ見習い。鑄はあげたもの何處に行こうとしてるのか? 遭難しそう!

★佐藤祐一さん(昭39年71回卒)  
寡夫となり4年。栄養バランスのとれた食事、眼・耳・足腰の機能維持、コミュニケーション(特に会話)の重要性を再認識し、できる範囲で努力しています。好きなお酒も今は週2回の缶ビール1本(350ml)程度で十分に満足している(毎日の晚酌は、単なる癖に過ぎなかつたのだと自己了解した次第です)。生物学では「ヒトは免疫細胞の老化による免疫力の低下や、組織の細胞の機能不全により病気となり、死ぬ」と結論付けています。

★佐藤 嶽さん(昭41年73回卒)  
5万年前に最初のご先祖様がアフリカを出発した。その後鎌倉時代には山形県内に住み着いていたらしい。私はここ八王子を第二のふるさとに決めたが、いずれ何も知らない子孫が庄内に移るがあるかもしれないと夢想している。それまで地球が壊れないように努力しよう。

★相田勝弘さん(昭33年65回卒)  
今年三月、末期癌で余命一年の宣告を受けた。覚悟して遺言、戒名、死亡通知などの準備万端していたところ、骨への転移認められないとして執行猶予となつた。命の重さ実感。現在は二十歳下の女性と恋愛中。(妻は10年前に没)

★佐藤省一さん(昭44年76回卒)  
我が家は朝昼食は各自で、ほかに食器洗い風呂掃除コーヒー担当。以上が家事で、野外は毎日のウォーキング、週3の打ち



★佐藤 嶽さん(昭41年73回卒)  
5万年前に最初のご先祖様がアフリカを出発した。その後鎌倉時代には山形県内に住み着いていたらしい。私はここ八王子を第二のふるさとに決めたが、いずれ何も知らない子孫が庄内に移るがあるかもしれないと夢想している。それまで地球が壊れないように努力しよう。

★相田勝弘さん(昭33年65回卒)  
今年三月、末期癌で余命一年の宣告を受けた。覚悟して遺言、戒名、死亡通知などの準備万端していたところ、骨への転移認められないとして執行猶予となつた。命の重さ実感。現在は二十歳下の女性と恋愛中。(妻は10年前に没)

★佐藤省一さん(昭44年76回卒)  
我が家は朝昼食は各自で、ほかに食器洗い風呂掃除コーヒー担当。以上が家事で、野外は毎日のウォーキング、週3の打ち

ウォーキングする事にしました。四季の草花、鳥や虫の声に心癒やされる日を送っています。

★百瀬昭男さん(昭54年86回卒)  
昨年、37年余り勤務した会社を無事卒業。自由になつたら何しよう? やりたい事だらけだったのに、如何せんコロナの真最中(泣)。よし、ならば野外活動に的を絞つて、釣り、ゴルフ、漁師ボランティアに邁進中! 今年は自指せ80切りとプロ漁師!

★佐藤 嶽さん(昭41年73回卒)  
5万年前に最初のご先祖様がアフリカを出発した。その後鎌倉時代には山形県内に住み着いていたらしい。私はここ八王子を第二のふるさとに決めたが、いずれ何も知らない子孫が庄内に移るがあるかもしれないと夢想している。それまで地球が壊れないように努力しよう。

★相田勝弘さん(昭33年65回卒)  
今年三月、末期癌で余命一年の宣告を受けた。覚悟して遺言、戒名、死亡通知などの準備万端していたところ、骨への転移認められないとして執行猶予となつた。命の重さ実感。現在は二十歳下の女性と恋愛中。(妻は10年前に没)

★佐藤省一さん(昭44年76回卒)  
我が家は朝昼食は各自で、ほかに食器洗い風呂掃除コーヒー担当。以上が家事で、野外は毎日のウォーキング、週3の打ち

つ放し月3のラウンド。冬はタイ遠征してたがコロナ禍で中断。秋冬の鮮魚釣り。残りは読書数独TV惰眠。惰眠が一番多い。(釜石在住)

★小池 悟さん(昭54年86回卒)  
今年還暦で一線を退き、のんびり旅行で

もと思っていましたところ、外出自粛で我慢の日が続いています。家で配信ライブや

YouTubeなどを見たり、家飲みを楽しみながら地味にこもっています。

★丸田孝明さん(昭43年75回卒)  
コロナ禍の閉塞感の中、認知症の発症率が増えているようです。認知症予防研究の第1人者と認知症予防のためのセミナー・旅行・コミュニティ企画・実施する会社を立ち上げました。詳細は

<https://slf-labo.com/>を参照して下さい。

★芳賀道保さん(昭47年79回卒)  
当時、東京の大学から、鶴岡に帰り庄内病院に放射線技師として就職するつもりが、採用試験の三次にて落選(3月18日)でした。その後、好きだった鶴岡に戻りました。そこでも好きだった鶴岡に戻ることも

★小林好雄さん(昭46年78回卒)  
出羽庄内地域文化情報誌Cradleがおかげさまで、創刊11周年を迎えました。運営はなかなか大変ですが、「楽しみに読むこともあります」との読者の皆さんからの声を励みに、これからも出羽庄内の魅力を地域内外に発信します。

★青木祐二さん(昭37年69回卒)  
60歳の頃から油絵を描き始めて独立美術展に出品しています。楽しみは絵の仲間とイタリア各地にスケッチ旅行に出かけること。イタリアはどこも街並みが個性的で魅力に溢れかつ料理もワインも美味しい。展覧会の後は同

じに阿蘇あたりへのんびり行つてみたい。

★本間透修さん(昭57年89回卒)  
コロナ感染者の多い神奈川(藤沢)から東京(六本木)まで、日々感染を心配しながら通勤しています。1年半以上帰省できず、テレビや新聞で「鶴岡」・「庄内」・「山形」の文字を見るといついついチエックしてしまいます。

★新野(丸山)由紀子さん(昭43年75回卒)  
朗読ボランティアを続けて15年になります。鶴岡市加茂の寺に眠る詩人茨木のり子が住んでいた家が西東京市の我が家

近くにあり、没後15年の今年は「茨木のり子の家を残したい会」の活動を通じて両市が繋がりました。コロナ禍の今、詩人の言葉に支えられています。

★渡部逸郎さん(昭41年73回卒)  
高校時代から登山を続けていた関係で、ついに那須山岳救助隊の隊長の職が回つ

★奥村(富樫)智子さん(昭46年78回卒)  
昨年の春、通っていたスポーツクラブが休業になり、このままでは足腰が弱くなると思い、家の近くの埼玉スタジアムを

夏の間は朝焼けを眺めるのがとても有り難いで

★菅原陽一さん(昭51年83回卒)  
单身赴任で東京勤務を始めて今月で丸4年。コロナ禍で始めた早朝ジョギング(4時出発オリンピックホッケー会場辺り)で毎日の生

活のリズム作りと免疫力UPに努めています。

★上野嘉一さん(昭53年85回卒)  
令和2年7月に国税庁を定年退職し、税理士を開業して早1年が経ちました。菅原陽一は、まだ日々勉強の毎日です。皆コロナに負けないで!

★菅原陽一さん(昭51年83回卒)  
单身赴任で東京勤務を始めて今月で丸4年。コロナ禍で始めた早朝ジョギング(4時出発オリンピックホッケー会場辺り)で毎日の生

活のリズム作りと免疫力UPに努めています。

★奥村(富樫)智子さん(昭46年78回卒)  
昨年の春、通っていたスポーツクラブが休業になり、このままでは足腰が弱くなると思い、家の近くの埼玉スタジアムを

夏の間は朝焼けを眺めるのがとても有り難いで

★奥村(富樫)智子さん(昭46年78回卒)  
昨年の春、通っていたスポーツクラブが休業になり、このままでは足腰が弱くなると思い、家の近くの埼玉スタジアムを

夏の間は朝焼けを眺めるのがとても有り難いで

★奥村(富樫)智子さん(昭46年78回卒)  
昨年の春、通っていたスポーツクラブが休業になり、このままでは足腰が弱くなる

と思われる。そこで、家の近くの埼玉スタジアムを

夏の間は朝焼けを眺めるのがとても有り難いで

★奥村(富樫)智子さん(昭46年78回卒)  
昨年の春、通っていたスポーツクラブが休業になり、このままでは足腰が弱くなる



## (つるおか「観光」ニュース)

鶴岡市は、県内で最も観光客数が多いまち。コロナ禍で観光が大きく落ち込む中で、実際に訪れていただけるのが、地元にとっては何よりも嬉しいことです。落ち着いたら、ふるさとへ里帰りはいかがですか。

## 世界からも注目される鶴岡

地味なように思えますが、鶴岡には、世界に誇れるもの意外とあります。

国内でただ一つのユネスコに認定された「食文化」創造都市。ギネスブック掲載クラゲ展示種類世界一の加茂水族館。鶴岡サイエンスパークでは、慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究実績と、Spiber社の人工合成ケモ系をはじめとしたタンパク質素材の開発と量産化などが、注目を集めています。

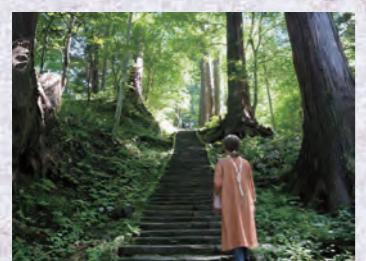


加茂水族館 北前船寄港地「加茂」から世界に誇るクラゲの展示

## 3つの日本遺産のまち

鶴岡市は、3つの日本遺産があるまち、最多タイながら3つもあるのは日本一です。

出羽三山信仰と自然が息づく「生まれ変わりの旅の出羽三山」、旧藩士が刀を鍔に持ち替えた松ヶ岡開墾が始まる「サムライゆかりのシルク」、そして、海の総合商社と呼ばれ関西と北海道を結んだ「北前船寄港地」の3つが日本遺産に指定されています。



石段詣 羽黒山で自分自身と向き合う、生まれ変わりの旅の提案

## 今年のつるおか、来年のつるおか

令和3年は、出羽三山丑歳御縁年です。この御縁年の年にお参りすると12年分のご利益、つまり、毎年参拝するのと同じご利益が得られるとしています。羽黒山バイパスが全通し、これから迎える冬も楽に行けるようになりました。

また、松ヶ岡開墾から150年にあたります。戊辰戦争後、庄内では、西郷南洲翁の教えを受け、国の近代化に貢献し



## 三寺社 御朱印

「寺」と「神社」が連携し、出羽三山御縁年に合わせ御朱印を頒布



## 善寶寺

日本有数の祈祷場。毎日、朝晩と「もっぱら祈る」

ようと開墾が始まりました。養蚕、製糸、製織、精練、捺染などの絹産業の主要工程が今も残る国内最北の絹産地です。

令和4年は、庄内藩酒井家の忠勝公が1622年に庄内に入部し400年。鶴岡は、今もなお殿様と慕われるご当主とご家族が住まわれる城下町です。庄内藩の治世を通じ、教育、産業、文化芸能など今日の鶴岡、庄内の基礎が築かれました。地域の歴史を知り、精神・価値を学び、持続可能な未来につなげて

いくことを目的に様々な記念事業が計画中です。



## 松ヶ岡開墾場・蚕室群

平成28年、天皇皇后両陛下が当地に行幸されました。



## 藩校致道館

個性伸長などの教育方針で質実剛健な庄内の気風を育む



「DEGAM  
ホームページ」



「かおる  
つるおか」

## 観光情報はこちら

お問い合わせ、パンフレットの請求はDEGAM(デガム)までどうぞ。また、デジタルパンフレット「かおるつるおか」では、関係者のインタビューも交え、鶴岡の観光、歴史、文化を紹介しています。

## 東京尾浦会

尾浦とは400年前、庄内に酒井氏が入部する以前に君臨していた武藤氏の築いた「尾浦城」にちなんだ大山の旧称です。

会長 加藤 有紘(昭和33年65回卒)  
事務局 〒155-0031 東京都世田谷区北沢5-15-12  
TEL&FAX 03(3468)0785

## 有限会社 オカベ

代表取締役 岡部 香澄

〒116-0011 東京都荒川区西尾久5-7-25  
Tel. 03-3893-9876

-13- 庄内 んめ もの ある ある 《漬物》「セイサイ：青菜」塩漬けしてから塩出したて「オミズケ」は、んめの。はっぱでおにぎり巻いで焼いてパリパリさせでの、今こっぺまげで「弁慶飯」だぞ。春先の酸っぱぐなたなも、んめの。

## 来年こそ対面で! クラブ・サークル・文化活動の紹介です!!

## 『卓球部OB会』



■連絡先／小松達弥(昭和57年89回卒)  
koma2@tkb.att.ne.jp

最後に卓球部OB会を開催したのは、コロナ直前の2019年12月14日(土)。今年はオリンピックで日本選手の大活躍も見られ「俺も、私も」と過去の自分を思い出したOB・OGも多いのでは。但し、年齢を忘れブレーザーすると2~3日後に必ず襲ってくる筋肉痛の事も忘れずに(笑)。開催は不定期ですが東京鶴翔同窓会のHPに掲載しますので是非参加を。

## 『庄内うたう会』



■連絡先／木戸美記子  
makice@gmail.com 090-4849-9148

庄内うたう会は新入会員大募集中。令和元年九月には創立二十周年の記念行事。その後、コロナ自粛期間でやむなく休会。令和四年一月から心機一転の再開です。指導者の田中宏氏は才能豊か! 会員は定例会の後は心身ともにリフレッシュ! 皆月一回の定例会を待ち焦がれています。入会資格は特になし。場所、日時は今のところ未定。詳細は問い合わせ先で。大歓迎です。

## 『柔道部OB会』



■連絡先／坂田敬一 090-9968-7945  
sakata01250505@gmail.com

平成5年、名物柔道部顧問故佐藤三郎先生を偲んで第1回柔道部OB会を神田で開き、その後毎年27回開催してきました。しかし、ここ2年は集まることができませんでした。来年は10月10日(土)に開催します。年に一度、懐かしい顔が講道館地階レストランに集合し、昭和から平成卒の皆さん、ワイワイ楽しい時間を過ごしています。

## 『鶴翔塾』



■連絡先／大泉正(昭53年85回卒)  
090-3816-3367

1997年に創設。生涯学習と相互交流を目的とし、多士済々の講師をお迎えして、これまで27回の開催。鶴翔塾は「講演会も良いが懇親会で郷土料理が食べられるのも良い」という方も…。この際、講演会・交流会のどちらが目的でも構いません。新型コロナ禍で昨年・今年とお休みを頂きましたが、来年は秋の開催を予定しています。乞うご期待を!!

## 『保健委員会OB会』



保健室で生まれ今も続く「合歓の会」

昭和42年、入学すると保健委員に選ばれた。養護教員は話し好きな原秀先生だった。時折り、高校生から見れば大人の人たちが保健室を訪ねて来る。原先生の前任、赤谷米子先生を「恩師」と慕う先輩たちだった。「合歓の会」と称し由良での一泊親睦会には50名ほどの参加があった。ニキビ顔が白髪に変わった今も年齢差を超えて集まるのは不思議だが温かい時間ではある。

## 『非公認「鶴翔釣り俱楽部』



■連絡先／佐藤雄喜(昭51年83回卒)  
shin-no@gf6.so-net.ne.jp

釣りは庄内では武芸と見なされる格式高い部活動である。東京鶴翔の釣り部は数年前に結成され、今の空前の釣りブームを先取りしています。東京同窓会には釣り好きの方が大勢いると思いますので、新规の参加大歓迎です。ただし、現在は海の船釣りが主体ですので、川の渓流釣りなど貴兄(女)の得意分野での部活動を拡大してください。会費なし、入・退会自由の気楽さあります。

## 『鶴友会(鶴栄会)ゴルフ』

去る10月7日に鶴友会(鶴栄会ゴルフ愛好会)として97回目、鶴栄会(庄内出身者のゴルフ愛好会)として12回目を開催。一時は14組53人の参加者で盛り上がった会も、今回は新型コロナの影響もあって4組16人。会員の高齢化と新規会員が増えないことで伝統の灯も消えそうです。同窓会のゴルフ好きの皆さん! 健康維持のためにも、是非一緒にゴルフを楽しみませんか?



■連絡先／第7代鶴友会会長 加藤孝幸(昭47年79回卒) 090-4434-4421



## 不偶房

代表 菅原 司(昭和38年70回卒)

〒178-0065 東京都練馬区西大泉1-15-8-401  
Tel & Fax. 03-3978-4311

## 寒河江法律事務所

弁護士 寒河江 孝允(昭和38年70回卒)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル10階  
電話 03-3502-0882 FAX 03-3502-0880



## みみずくデザイン

TEL:03-3607-7003

FAX:03-3627-0169

〒125-005 東京都葛飾区新宿3-30-2

Email:amimizuk@d5.dion.ne.jp



## 大泉 正(昭和53年85回卒)

日本FP協会会員 相続診断士

〒104-0054 東京都中央区勝どき6-3-1-3422  
Tel:03-6794-1208 Fax:03-6734-0498

携帯:090-3816-3367

フリーダイヤル:0800-080-1208

E-mail:oizumi.masashi@mt-kachidoki.jp

## 令和2(2020)年度 年会費納入者名簿(卒業年次別)

昭和~	
19年 52回卒	佐藤 啓輔 佐藤 正吾 佐藤 昭一
20年 53回卒	土田 栄治 船岡 美子 寒河江辰巳
21年 54回卒	大川 重一 奥田 文夫 佐藤 進
24年 56回卒	大川 重一 奥田 文夫 佐藤 捷実
25年 57回卒	阿部 善之 細井 地久 丸谷 錦吾
26年 58回卒	梅津 迪子 川島 協 佐藤 俊彦
長谷川 実 早川 恒子 増田 幸子 皆川 英明	大瀬 錦太 大瀬 錦太 大瀬 錦太 大瀬 錦太
27年 59回卒	池田 輝之 石井 忍 大瀬 錦太 桑原 貢次 齊藤 優三 佐藤 埃子 佐藤 成生 西 秀 橋本 信子 山越 康
28年 60回卒	小川 昌子 加藤 誠 小杉 信 藤瀧 俊 村上 文昭 29年 61回卒
佐藤 泰浩	佐藤 泰浩

34年 62回卒	佐藤 征士 佐藤 志郎 菅井 誠一郎 大川 政紀 鶴谷 英樹 門脇 厚司 門脇 譲 佐藤 捷実 佐藤 久雄 白幡 喜昭 中嶋 茂 三矢 安野 安野 正紀
35年 63回卒	佐藤 善博 板垣 雄 大瀬 錦太 鎌田 喜子 富樺 稔 外池 連子 平田 宏 三井 ミヨ子
36年 64回卒	新井 健一 榎本 克弘 大井 真 岡部鉄太郎 小花 吉彦 河野 景子 佐藤 忠夫 佐藤 隆三 鈴木 啓吾 永澤萬里野 早川 浩市 真島 知夫 宮本 康慶
37年 65回卒	加藤 安倍 斎藤 大塚 菅原 吉士 成田 雅子
38年 66回卒	足達 哲郎 武田 二郎 本間 雄士 森田 良治 鶴谷 英樹 門脇 厚司 門脇 譲 佐藤 捷実 佐藤 久雄 白幡 喜昭 中嶋 茂 三矢 安野 安野 正紀

41年 70回卒	齋藤 征士 佐藤 志郎 菅井 誠一郎 大川 政紀 鶴谷 英樹 門脇 厚司 門脇 譲 佐藤 捷実 佐藤 久雄 白幡 喜昭 中嶋 茂 三矢 安野 安野 正紀
42年 74回卒	五十嵐 不 伊藤恵美子 栗本 浩 齊藤 塚市 高根 勉 太田 司郎 上林 治 後藤 広喜 小林 淑人 齋藤 庄司 忠鉢 仁 富樺 信 土岐 寛 長江 和子 中野 不 矢吹 静子
43年 75回卒	五十嵐房夫 伊藤伊都子 永井 中 成澤 紀明 新村 橋本 橋本 平山 渡部 渡部 渡部 渡部 阿部 茂弘 池田 晃 上野 裕 鶴谷 淳二 近藤 進 齋藤 敬治 佐藤 幹生 渡辺 勘 渡辺 渡会
44年 76回卒	五十嵐 不 伊藤恵美子 栗本 浩 齊藤 塚市 高根 勉 太田 司郎 上林 治 後藤 広喜 小林 淑人 齋藤 庄司 忠鉢 仁 富樺 信 土岐 寛 長江 和子 中野 不 矢吹 静子
45年 77回卒	五十嵐 功 黒田 俊男 上林 正己 黒田 俊男 佐藤 克己
46年 78回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
47年 79回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
48年 80回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
49年 81回卒	五十嵐 功 黒田 俊男 上林 正己 黒田 俊男 佐藤 克己
50年 82回卒	五十嵐 治男 稻舟 幸 岩城 敬一 坂本 重治郎 佐藤 潔 陶山 宏 武田 秀雄 真島 浩子 渡部 洋
51年 83回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
52年 84回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
53年 85回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
54年 86回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
55年 87回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
56年 88回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
57年 89回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
58年 90回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
59年 91回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
60年 92回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
61年 93回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
62年 94回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
63年 95回卒	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己
64年~	五十嵐 章 桂獄 みな 木戸 美記子 衣笠 黒井 佐藤 佑一 佐藤 克己

～もっともっと広げよう！故郷と母校の絆～

## (母校ニュース)

## ○どうなる？中高一貫校計画の今

令和6年度(2024年度)より庄内中高一貫校(仮称)が開校されます。令和4年の夏から新高校校舎の大規模改修作業の予定です。現グランドに仮校舎を建設。令和6年3月までそこで学校生活を送ることになります。北高は現校舎での生活を継続しながら改修作業に入ります。北高は中学校としてスタートします。

令和6年4月、新高校ではクラス替えはせず、両校のクラスの状態のままでクラス編成します。北高の生徒は理数科に転学できません。令和6年度の3年生は、理数科1クラス+普通科7クラスとなります。2年生はクラス数は同じですが普通科のみ、南高普通科と北高普通科の生徒でクラス編成を行います。この時も北高生は理数科に転学できません。移行期を経て、令和8年度から完全な中高一貫校になります。

制服・運動着は新高校のものを令和4年度入学生から導入。現在、選定中です。新高校の校名、校章、校歌については選定方法や今後のスケジュールを検討中です。

## ○創立第133周年記念行事(7.1)

莊銀タクトにて創立第133周年記念行事が行われました。感染対策をした上で、感謝状の贈呈や歴代校歌披露、記念講演が行われました。長い歴史を感じられる有意義な行事となりました。

## ○部活動

4月下旬の鶴岡市のコロナ感染を受け田川地区のみ5月上旬まで部活動が禁止され、地区総体は1週間の延期、県総体はいろんな制約や困難の中で開催。このような状況下でも結果を出し、アーチェリー男女団体・個人、卓球女子ダブルス、水泳がインターハイに、陸上が東北大会に出場を果たしました。

文化部では科学部が全国高総文祭、吹奏楽研究会と音楽部が東北大会へ出場を果たしました。

## ○コロナ禍での南高祭(7.21~22)

テーマは『今、燐く～僕らの素晴らしい日々奪えない～』。今年度は①コロナ禍であってもできることを実行する、②一般公開はできなくても地域と繋がる企画を創る、③そして現校舎での最後の文化祭(中高一貫校で校舎が改築される)を最高のものにするをスローガンに取り組みました。地域連携企画その①は『鶴岡市内飲食店のティックアウトメニューでランチ』。例年通りの模擬店設営ができないため、市内の6店舗から全校生徒と教職員が約1200食のお弁当を注文(500円ワンコインでお店と交渉=感謝)し、校内でランチを楽しみました。その②は、『鶴岡市内11商店街との地域活性コラボCM制作』。「知る・出会う・つなぐ」をテーマに各商店街の皆さまと担当生徒が動画を作成し、全校生徒で鑑賞しました。そして今回の大目玉は、『全校一大アート・校歌&応援歌の木彫り製作』、有志による『現校舎のジオラマ製作』です。中高一貫校開始まであと3年の今、「南高の今」を何としても残したいという思いからの企画です。ぜひ鶴南鶴翔会館にお越しの際にはご覧いただき、熱い思いを感じて頂ければ光栄です。

(生徒会担当 百瀬美奈子)



歌詞の文字は3年生2名が書き、全校生徒が影上げました。



ジオラマは現在、作業継続中で今年度中に完成予定。

## 令和3(2021)年度 役員・事務局・幹事名簿 令和3年4月1日

## 会長

坂田 敬一(昭42年74回)

## 副会長

梅津 準士(昭45年77回)

大泉 正(昭53年85回)

## 常任幹事

安野 正紀(昭34年66回)

小林 啓二(昭38年70回)

長江 和子(昭38年70回)

相馬 省記(昭39年71回)

小鷹 光雄(昭40年72回)

栗本 浩(昭41年73回)

小林 純雄(昭44年76回)

小林 桂子(昭46年78回)

加藤 老幸(昭47年79回)

坂田 俊次(昭48年80回)

菅井 順朗(昭49年81回)

篠崎 実(昭53年85回)

石川 透(昭55年87回)

## 顧問

佐藤 成生(昭27年59回)

奥田 文夫(昭30年62回)

菅井 徹(昭37年69回)

太田 良弘(昭38年70回)

大橋 進(昭30年62回)

鶴岡 千里(昭43年75回)

平田 宏(昭31年63回)

中島 恵子(昭43年75回)

星野 茂(昭44年76回)

加藤 伸(昭33年65回)

大川 政紀(昭34年66回)

齊藤 敬治(昭35年67回)

小鷹 恵子(昭36年68回)

佐藤 清四郎(昭36年68回)

杉山 恵子(昭36年68回)

鶴岡 宏(昭36年68回)

櫻井 孝子(昭36年32回)

石川 康博(昭49年81回)

菅井 正明(昭40年72回)

兼子 久(昭40年72回)

高嶋 勝平(昭41年73回)

佐藤 文彦(昭49年81回)

五十嵐 不(昭41年73回)

平山 静夫(昭41年73回)

青島 時子(昭42年74回)

秋野 裕(昭42年74回)

江部 信夫(昭51年83回)

仁平 则行